

製品名: L-セレクチンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13457**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	42kDa

抗原情報

遺伝子名	SELL
別名	SELL; LNHR; LYAM1; L-selectin; CD62 antigen-like family member L; Leukocyte adhesion molecule 1; LAM-1; Leukocyte surface antigen Leu-8; Leukocyte-endothelial cell adhesion molecule 1; LECAM1; Lymph node homing receptor; TQ1; gp90-MEL; CD62L
遺伝子 ID	6402.0
SwissProt ID	P14151
免疫原	抗血清はヒト SELL の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 91-140

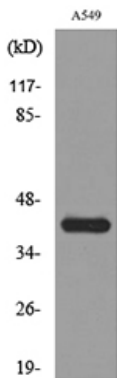
背景

この遺伝子は、接着 / ホーミング受容体ファミリーに属する細胞表面接着分子をコードしています。コードされているタンパク質は、C型レクチン様ドメイン、カルシウム結合性上皮成長因子様ドメイン、および2つの短い補体様反復配列を含んでいます。この遺伝子産物は、白血球が内皮細胞に接着し、その後ローリングするのに必要であり、二次リンパ器官や炎症部位への遊走を促進します。この遺伝子の一塩基多型は、免疫グロブリン A 腎症を含む様々な疾患と関連付けられています。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写産物バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2009年10月]、機能: 細胞表面接着タンパク質。末梢リンパ節の高内皮細静脈の内皮細胞へのリンパ球の接着を媒介します。内皮細胞における白血球の初期接着とローリングを促進する。、オンライン情報: L-セレクトイン,類似性: セレクトイン/LECAM ファミリーに属する。、類似性: C型レクチンドメインを1つ含む。、類似性: EGF様ドメインを1つ含む。、類似性: Sushi (CCP/SCR) ドメインを2つ含む。、サブユニット: 白血球のリクルートメントとローリングを促進するには、PSGL1/SELPLG との相互作用が必要である。この相互作用は、PSGL1 のシアリルルイス X グリカンとチロシン硫酸化修飾に依存する。PSGL1 の Y-51 の硫酸化は、L-セレクトイン結合に重要である。、組織特異性: B 細胞株および T リンパ球で発現する。、

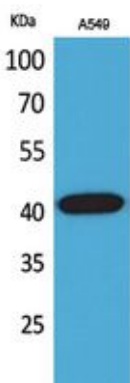
研究分野

細胞接着分子 (CAM)

画像データ



SELL 抗体を使用した A549 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



L-セレクトインポリクローナル抗体を用いた A549 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。